

技術委員会報告

委員長 法安章二

平成 26 年度は、ミニフォーラムの企画・開催や学会行事への共催、協力を主な活動としてきました。

今年度のメンバーは、以下の 9 名です。

委員長：法安章二(玉野総合コンサルタント(株))
副委員長：米田茂夫((株)ダイヤコンサルタント)
委員：浅川 実 (日本エルダルト(株))
委員：片岡 泰 ((株)キンキ地質センター)
委員：草野善彦((株)岐阜ソイルコンサルタント)
委員：小西純一(サンコーコンサルタント(株))
委員：高橋幸伸(東海ジオテック(株))
委員：土屋国彦(土屋産業(株))
委員：由井恒彦(松阪鑿泉(株))

主な技術委員会活動は、以下の通りです。

- (イ) 会員各社の技術向上を目的とした技術研究の促進
 - ・「中部ミニフォーラム2014」企画・開催 (H26.10.24)
- (ロ) 地盤工学会中部支部、日本応用地質学会中部支部等の諸行事への共催、事業協力
 - ・「地盤調査ボーリング作業見学会」の開催 (H26.5.16)
- (ハ) 全地連が主催する講習会の開催支援
- (ニ) 地質調査関連講習会への講師派遣

■地盤調査ボーリング作業・物理探査見学会

地盤工学会中部支部主催の「地盤力学・工学講習会(現場編)地盤調査ボーリング作業・物理探査～室内土質試験見学会」に中部土質試験協同組合と共催の形で毎年実施しております。

技術委員会は、ボーリングマシンを使用する現場作業、原位置試験等の実作業や物理探査作業を見学する場を提供しています。また、ボーリングツールについても各種展示しました。

参加者は 70 名で、地質調査会社、コンサルタント会社、建設会社、学生などで、協会各社からの参加は 12 社 28 名でした。



■中部ミニフォーラム 2014

今年 9 月 17 日～18 日に予定されている全地連「技術フォーラム 2015 名古屋」に先立つ開催として企画した結果、92 名と多くの方の参加を賜りました。

中部ミニフォーラム開催の主旨は、例年通り「技術の伝承」を念頭に、協会会員各社に在籍の、特に若手技術者の発表力・技術力向上です。

今年度は 16 名の多くの若手技術者が発表を行い、その後発表内容に対しての意見交換の場を設け、各セッションの終了時に座長が簡単な講評をまとめました。限られた時間の中で、経験豊富な技術者からのアドバイスや意見交換ができ、非常に有意義で密度の濃い知識の集積を計ることができました。

審査の結果、優秀論文発表者が山下大輔氏(中央開発(株))、また若手技術者を対象とした奨励賞が鈴木和也氏(応用地質(株))の 2 名に決まりました。両名には、5 月に開催の通常総会の場において表彰を行います。また、論文は本号「土と岩」及び、協会ホームページにも掲載してあります。



このほか、地盤工学会中部支部および日本応用地質学会中部支部等の諸行事への共催、並びに後援等の協力については、以下の通りです。

■日本応用地質学会中部支部

- ・平成 26 年度研究発表会・講演会(H26.10.17)

■地盤工学会中部支部

- ・第 23 回 調査・設計・施工技術報告会(H.26.6.20)
- ・第 26 回中部地盤工学シンポジウム(H26.8.8)
- ・「想定外」豪雨による地盤災害への対応を考える調査研究委員会」への委員派遣継続(~H26)
- ・平成 26 年 11 月長野県北部を震源とする地震合同調査への委員派遣(H26.12.8~9)

■その他

- ・「中部地方巨大災害タスクフォース」委員派遣継続
- ・地質リスクキーマンの活動(全地連)